

令和2年8月12日 開催 市民活動支援補助金(ジャンプ補助金)審査結果

補助金種別		ジャンプ(2回目)	
団体名		ながさきDV加害者更生プログラム研究会	
事業名		DV加害者プログラム実施および啓発事業	
事業概要		<p>市民の方にDV加害者対策の必要性を訴えること、暴力と虐待の世代連鎖を止めるために何が必要なのか問いを投げかけ、啓発することを目的とする。</p> <p>加害者が対話を通して自らの加害に向き合うことをテーマにした、犯罪加害者更生のドキュメンタリー映画「プリズン・サークル」の上映及び、映画の製作監督者・坂上香氏の講演会を行う。</p> <p>日時: 令和2年9月19日 場所: 長崎市立図書館 多目的ホール</p>	
事業費総額		214,000円	
補助申請額		131,000円	
補助予定額		131,000円	
審査項目		配点	各審査項目における平均点
1	事業の必要性	10点	9.5点
2	事業の実現性	10点	8.5点
3	事業の普及性及び波及効果	10点	8.5点
4	事業の継続性及び発展性	5点	4.3点
5	事業の独自性	5点	4.5点
6	事業への熱意	10点	9.5点
合計点		44.8点/50点満点	
得点率		89.5%	
審査結果		採 択	
審査会コメント		<p>DV被害者支援の一環として加害者更生というアプローチを行う活動の必要性を、映画を通じて一般の方にもアピールする新たな試みが評価できる。</p> <p>事業には、映画に興味がある方だけではなく、団体の活動に興味があり参加される方もいると思うので、映画で深まった知識や興味を自分たちへの活動へ導けるようなフォローアップがあるとより充実すると考える。</p> <p>資金調達は課題であるかと思うが、継続的に良い事業運営ができるような方法を模索していただきたい。</p>	

令和2年8月12日 開催 市民活動支援補助金(ジャンプ補助金)審査結果

補助金種別		ジャンプ(3回目)	
団体名		Take it! 虹	
事業名		第5回ながさき・愛の映画祭	
事業概要		<p>楽しみながら人権を学ぶ場をとして、性的マイノリティやその他、社会課題への無関心層に対し映画やイベントなどの娯楽を通じた啓発を行い、考えるきっかけを作る。また、性の多様性だけでなく、様々な団体や学生と連携しイベントを行うことで相互理解の促進や次世代育成を行う。</p> <p>日時: 令和3年2月26~28日 場所: オンライン開催</p>	
事業費総額		600,000円	
補助申請額		200,000円	
補助予定額		200,000円	
審査項目		配点	各審査項目における平均点
1	事業の必要性	10点	9.0点
2	事業の実現性	10点	9.0点
3	事業の普及性及び波及効果	10点	8.0点
4	事業の継続性及び発展性	5点	4.3点
5	事業の独自性	5点	4.5点
6	事業への熱意	10点	9.0点
合計点		43.8点/50点満点	
得点率		87.5%	
審査結果		採 択	
審査会コメント		<p>活動の趣旨と事業内容については先見性が認められ評価できる。コロナ禍において、オンライン開催はみんなの関心事であり期待している。別日を設けるなど、不測の事態を想定し、しっかり対応策を講じたうえで行ってほしい。</p> <p>また、団体の活動が当事業の中でどう展開し今後活かされていくのか少し不明瞭であったので、報告会で発表してほしい。</p> <p>仲間を増やして団体としての力をつけ、今後も活躍することを期待する。</p>	

令和2年8月12日 開催 市民活動支援補助金(ジャンプ補助金)審査結果

補助金種別		ジャンプ(1回目)	
団体名		ゆめカステラプロジェクト	
事業名		第1回長崎嚙下食デザートコンテスト	
事業概要		<p>多くの人に摂食嚙下障害に関心をもってもらうことを目的に本事業を開催する。飲み込みづらい方でもおいしく食べやすいデザートアイデアを募集し、実食審査を行う。コンテスト終了後に優秀なレシピを集めたレシピ冊子を作成し、多くの方に共有する。</p> <p>実食審査: 令和2年11月8日 場所: もりまちハートセンター 調理室</p>	
事業費総額		180,000円	
補助申請額		97,000円	
補助予定額		97,000円	
審査項目		配点	各審査項目における平均点
1	事業の必要性	10点	9.0点
2	事業の実現性	10点	8.5点
3	事業の普及性及び波及効果	10点	7.5点
4	事業の継続性及び発展性	5点	4.0点
5	事業の独自性	5点	4.3点
6	事業への熱意	10点	9.5点
合計点		42.8点/50点満点	
得点率		85.5%	
審査結果		採 択	
審査会コメント		<p>「摂食嚙下障害」への関心を高めるという活動目的から、デザートを作るという視点に共感し、またコンテストという手法で広めようというアイデアは評価できる。専門性の高い活動ではあるが、他の福祉系の市民活動団体や農業系の高校など、様々な団体等とつながることで、活動の可能性も広がっていく。他の市民活動団体を知ってもらい、新たなニーズをつかんでほしい。レシピ集をどのように活用するのかはコンテスト後の展開を含めて精査した上で実施し、活動がより広がる形となるよう期待する。</p>	